

（件名）東南アジア最大級の日本食品総合見本市「Food Japan 2023」がシンガポールで開催

■はじめに

2023年10月より当事務所に着任致しました。北海道のPRをすべく精進してまいりたいと思います。どうぞよろしくお願いたします。今月の現地レポートでは、シンガポールで開催された東南アジア最大級の日本食品総合見本市「Food Japan 2023」の様子をお伝えします。北海道からも多くの企業が出展、イベント最終日の会場は熱気に包まれていました。

○Food Japan 2023 概要

日時：10月11日（水）～10月13日（金） 10:00～17:30

会場：Suntec Singapore Convention & Exhibition Centre

主催：Food Japan 実行委員会（OJ Events Pte Ltd）

後援：在シンガポール日本国大使館、農林水産省、日本貿易振興機構等

出展者：30道県から約180の団体（法人・各自治体）が出展（うち北海道からは7社出展）

来場者：6,312名（昨年比+1,777名）

■イベントの様子

自社商品をPRすべく試食を提供しているブースが多く、商談スペースでは来場者との仕入交渉を行っている企業も見受けられました。道内企業ブースでは新鮮な海産物・農産物・畜産物に注目が集まり、各社盛況でした。

有限会社岩田青果（余市町）では、こだわりの厳選リンゴや特産の「千両梨」等を試食提供、北のフルーツ王国余市の逸品は来場客に好評でした。和弘食品株式会社（小樽市）では、プラントベース（植物由来）のスープを出品しており、実際に試食しましたが、本物の豚骨スープとの違いが分からないほど美味しかったです。同社としては本製品でベジタリアンなど新たな市場を開拓したいとこのことです。このほか海産物を扱う道内企業ブースではホタテなどの海の幸に注目が集まり、その場で購入する一般来場客の姿も見受けられました。来場客の一人に北海道について聞くと、「北海道は知っているよ。広くて食べ物が美味しいイメージでいつか行ってみたい」と話され、改めて北海道の認知度の高さを感じました。

■今後に向けて

成長著しいASEANは道産食品輸出拡大に向けた重要な市場であり、なかでもASEANのショーケースとも呼ばれるシンガポールにおけるプロモーションは重要です。当事務所としても道内企業・団体の皆様と幅広く連携しながら、引き続き北海道の食の魅力の発信に努めてまいります。

■イベントの様子

左：ホクレン農業協同組合連合会ブースの様子。道産牛焼き肉の試食提供が好評でした。

右：株式会社小林正男商店ブースの様子。ホタテとイクラの試食提供で行列が出来ていました。



以上